

大町スポーツクラブ 中長期目標（2028年までの7カ年）

大町スポーツクラブは、総合型地域スポーツクラブの理念に基づいた各教室の活動により、地域のスポーツを振興する目的を果たしてきた。一方、新型コロナウイルス感染症によりスポーツ活動が制限されてきたことに加え、少子化の影響もあり会員数が急激に減少していることや指導者層の高齢化など対応が急がれる課題もある。

2028年には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が長野県で開催され、大町市がバレーボール、スポーツクライミング、サッカーの会場地となる。2028年を目標年度として以下のとおりに取り組むことにより、大町スポーツクラブの活動を更に充実したものとし、一人でも多くの会員が選手、競技役員、補助員、ボランティアとして両大会に関わるとともに会員一人ひとりが主体的に「する、みる、ささえる」という多様なスポーツの楽しみ方を実践できるようにする。

- 安全に配慮した指導の徹底と教室の活動内容の充実に努める。
- クラブ事業（研修会、交流会、体験会、特設講座）の充実を図り、積極的に発信することで会員の増加を図る。
- 他のクラブ、団体、学校との連携を深め、多様なニーズに応えられる教室を展開する。（開催教室の増加、複数種目実施者の増加、会員世代の拡大）
- 選手強化を支援し「2028 全国スポーツ大会」に出場する選手を育成する。（スポーツ活動拠点構築事業などを活用）
- 「2028 全国障害者スポーツ大会」に携われる人材を育成する。（障がい者スポーツ拠点づくり事業などを活用）

令和4年7月6日